

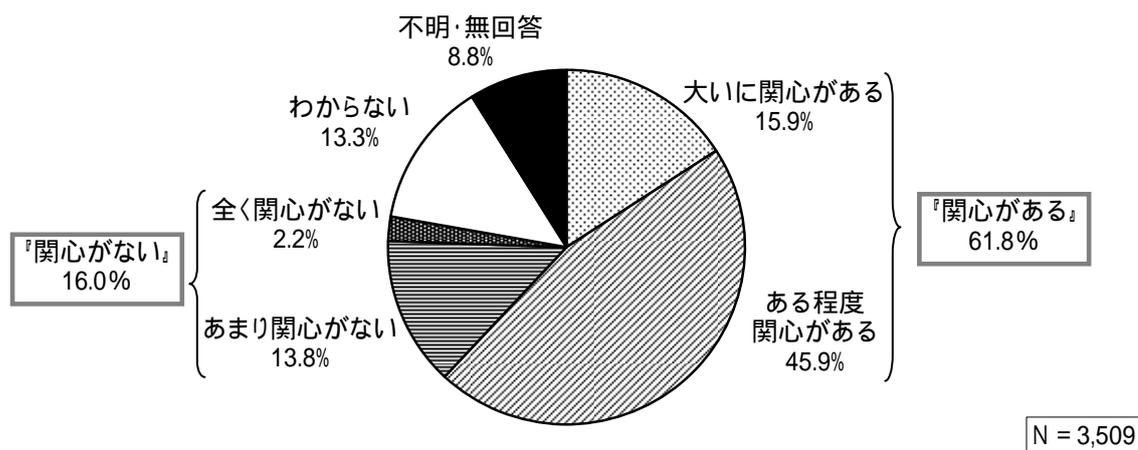
## 6. 地方分権

### 地方分権への関心

問 33 あなたは、国の権限と財源を県や市町に移し、地域のことは地域で決められるようにする「地方分権」について、どの程度関心がありますか。( は1つだけ)

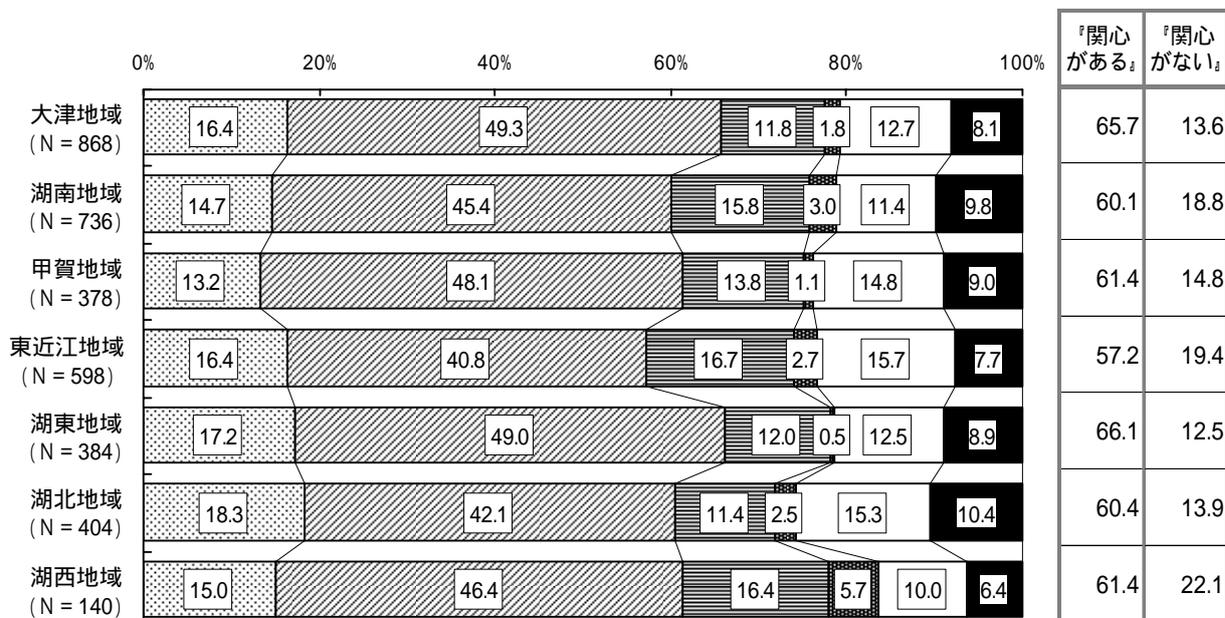
#### 「関心がある」が61.8%

地方分権への関心は「ある程度関心がある」が45.9%と最も高く、「大いに関心がある」(15.9%)と合計すると、61.8%が『関心がある』と回答している。『関心がない』(「あまり関心がない」と「全く関心がない」の合計)は16.0%となっている。



#### 【地域別】

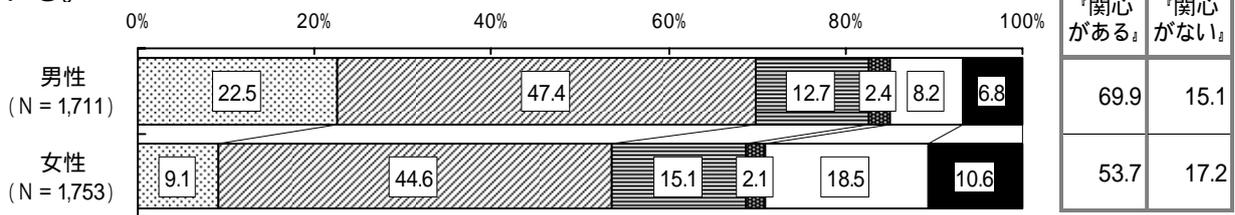
「大いに関心がある」は湖北地域で最も高く、18.3%となっている。『関心がある』は、東近江地域を除き、6割を超えており、湖東地域で66.1%と最も高くなっている。



□ 大いに関心がある   ▨ ある程度関心がある   ▩ あまり関心がない   ■ 全く関心がない   ◻ わからない   ■ 不明・無回答

【性別】

『関心がある』は、男性で 69.9%、女性で 53.7%となっており、男性のほうが 16.2 ポイント高くなっている。「大いに関心がある」は男性が 22.5%で女性よりも 13.4 ポイント高くなっている。



□ 大いに関心がある ▨ ある程度関心がある ▩ あまり関心がない ■ 全く関心がない ◻ わからない ■ 不明・無回答

【性・年代別】

「大いに関心がある」は、すべての年代で男性の方が高くなっている。『関心がある』は男女とも 50 歳代で最も高く、男性が 79.4%、女性が 58.8%で、すべての年代で男性のほうが高くなっている。

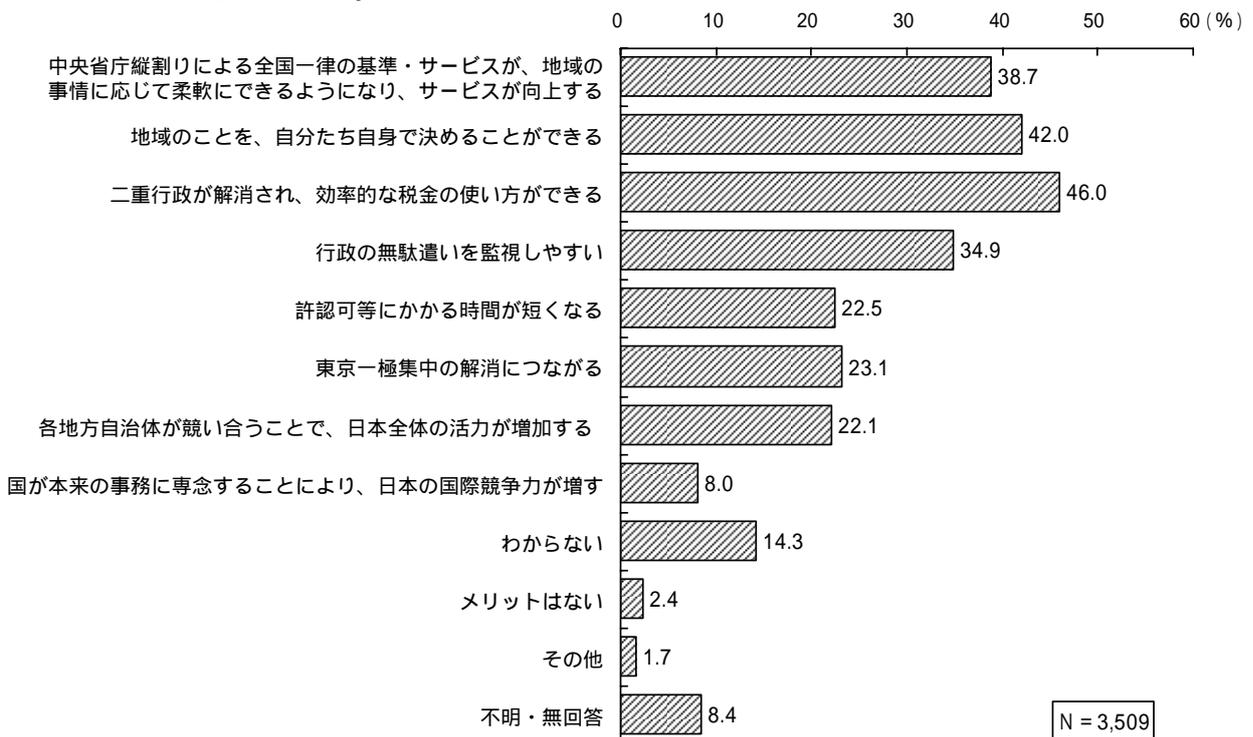
一方、『関心がない』は男女とも 20 歳代が最も高くなっている。

地方分権のメリット

問 34 あなたは、「地方分権」が進むと、どのようなメリットがあると思われますか。（はいいくつでも）

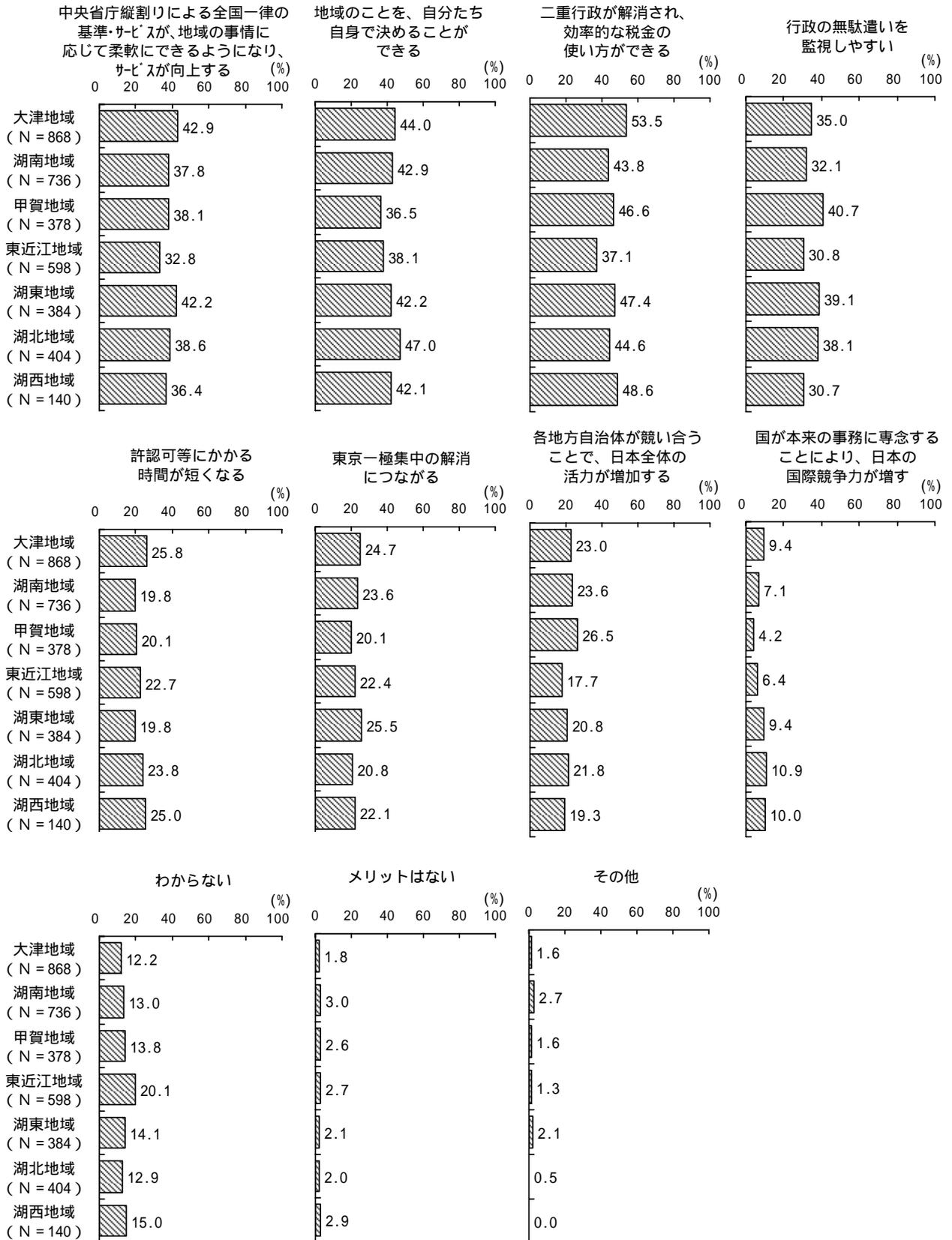
「二重行政が解消され、効率的な税金の使い方ができる」が 46.0%

「二重行政が解消され、効率的な税金の使い方ができる」が 46.0%で最も高く、次いで「地域のことを、自分たち自身で決められること」(42.0%)となっている。一方、「メリットはない」は 2.4%となっている。



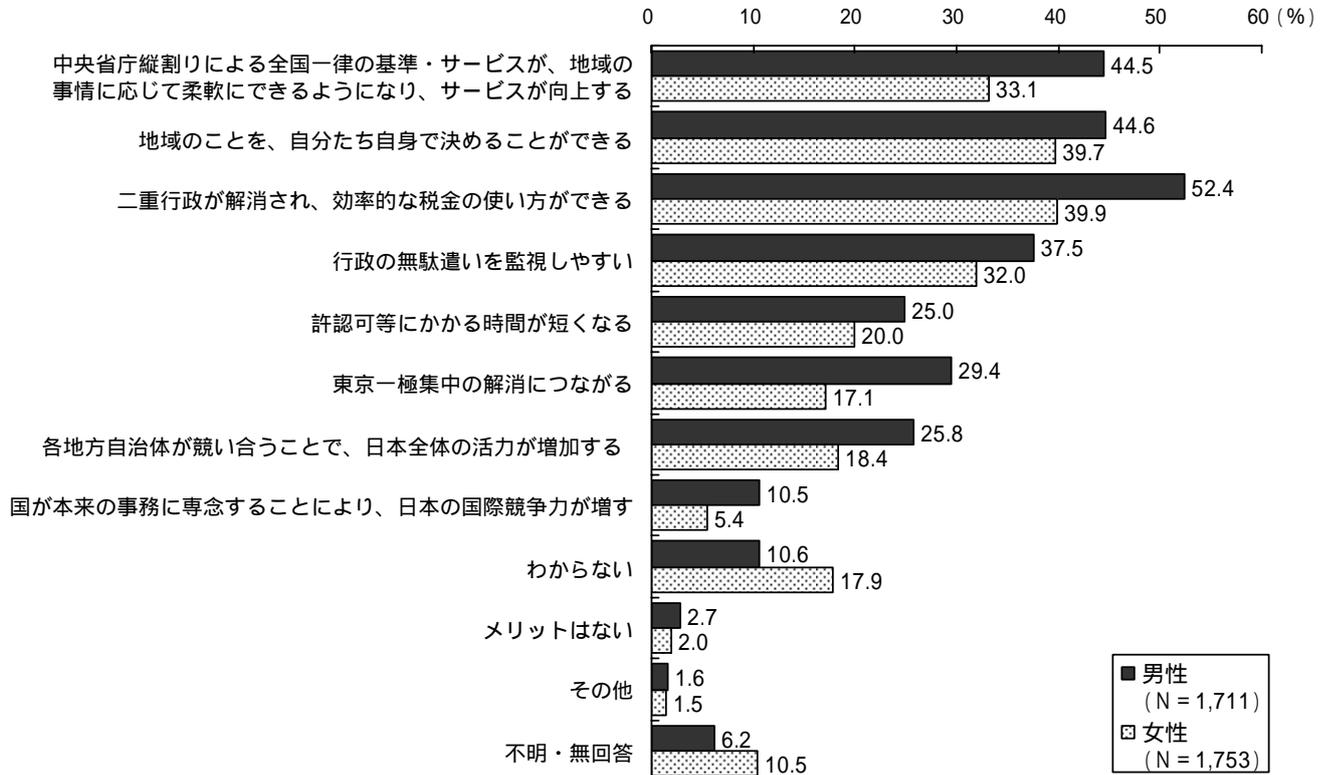
【地域別】

東近江・湖北地域では、「地域のことを、自分たち自身で決めることができる」が、その他の地域では「二重行政が解消され、効率的な税金の使い方ができる」が最も高くなっている。



### 【性別】

男女ともに「二重行政が解消され、効率的な税金の使い方ができる」が最も高く、男性 52.4%、女性 39.9%と、男性のほうが 12.5 ポイント高くなっている。次いで「地域のことを、自分たち自身で決めることができる」、「中央省庁縦割りによる全国一律の基準・サービスが、地域の事情に応じて柔軟にできるようになり、サービスが向上する」の順となっている。すべてのメリットで男性の割合が高くなっている。



### 【性・年代別】

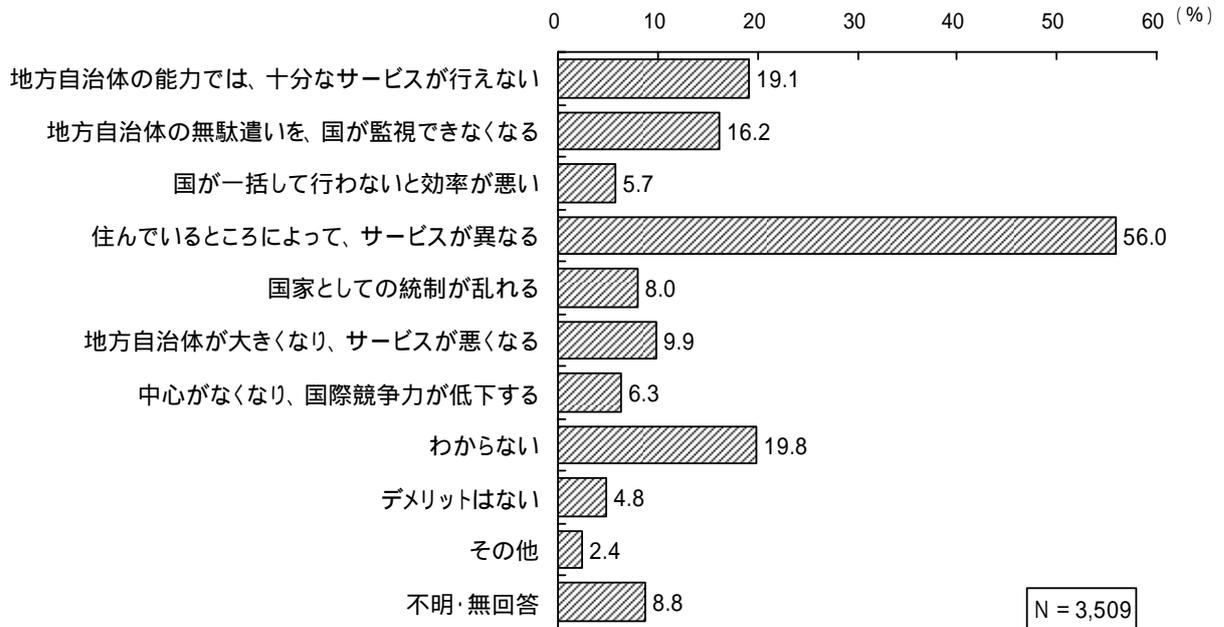
女性の 20・40 歳代と 70 歳以上で「地域のことを、自分たち自身で決めることができる」が、男性の 40 歳代では「中央省庁縦割りによる全国一律の基準・サービスが、地域の事情に応じて柔軟にできるようになり、サービスが向上する」が最も高くなっており、男女ともにその他の年代では「二重行政が解消され、効率的な税金の使い方ができる」が最も高くなっている。

## 地方分権のデメリット

問 35 あなたは、「地方分権」が進むと、どのようなデメリットがあると思われますか。(はいくつでも)

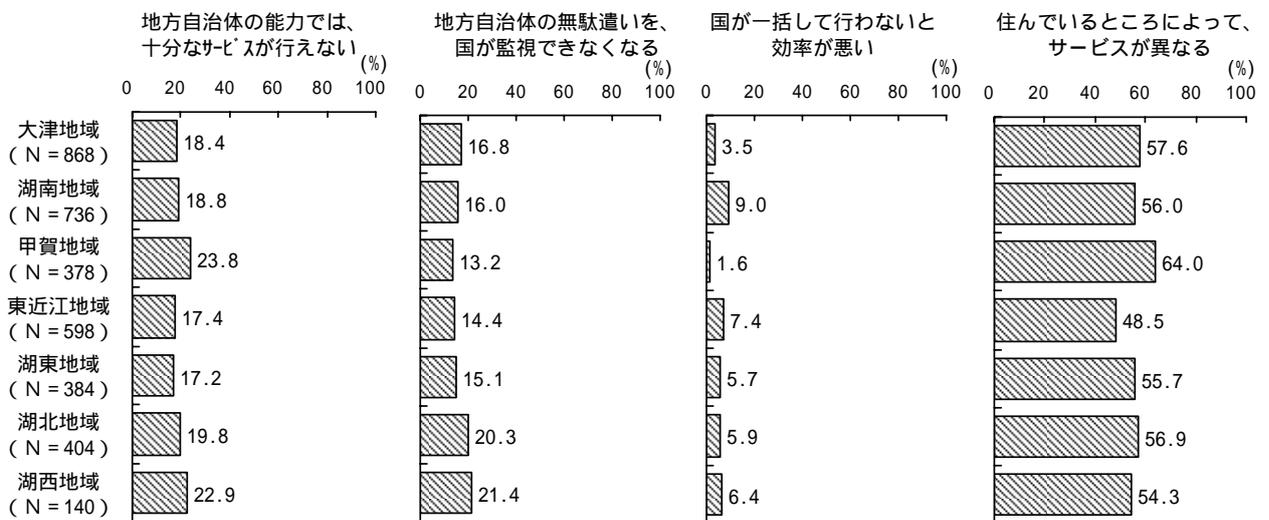
### 「住んでいるところによって、サービスが異なる」が56.0%

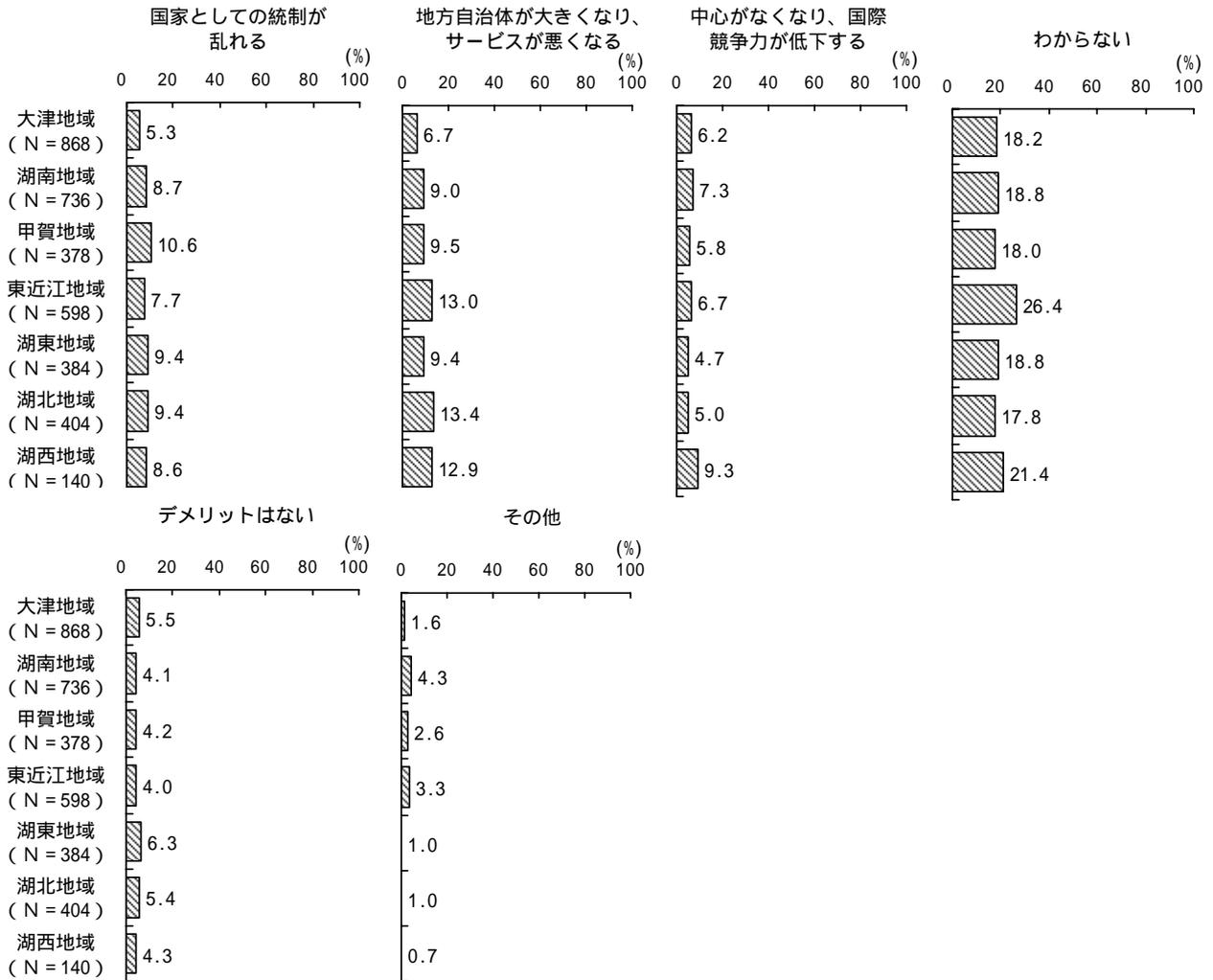
「住んでいるところによって、サービスが異なる」が56.0%と最も高く過半数を占める。次いで「わからない」(19.8%)、「地方自治体の能力では、十分なサービスが行えない」(19.1%)の順となっている。



### 【地域別】

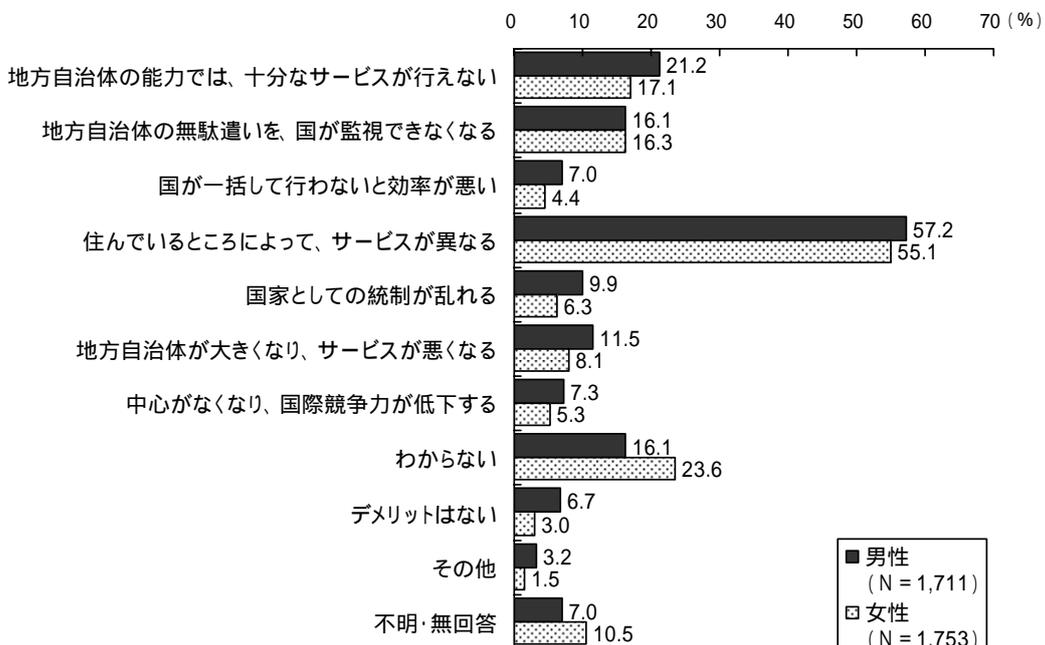
すべての地域で「住んでいるところによって、サービスが異なる」が最も高く、東近江地域を除き5割を超え、なかでも甲賀地域で最も高く、64.0%となっている。





【性別】

男女ともに「住んでいるところによって、サービスが異なる」が最も高く、男性 57.2%、女性 55.1%となっている。次いで、男性では「地方自治体の能力では、十分なサービスが行えない」(21.2%)、女性では「わからない」(23.6%)となっている。



【性・年代別】

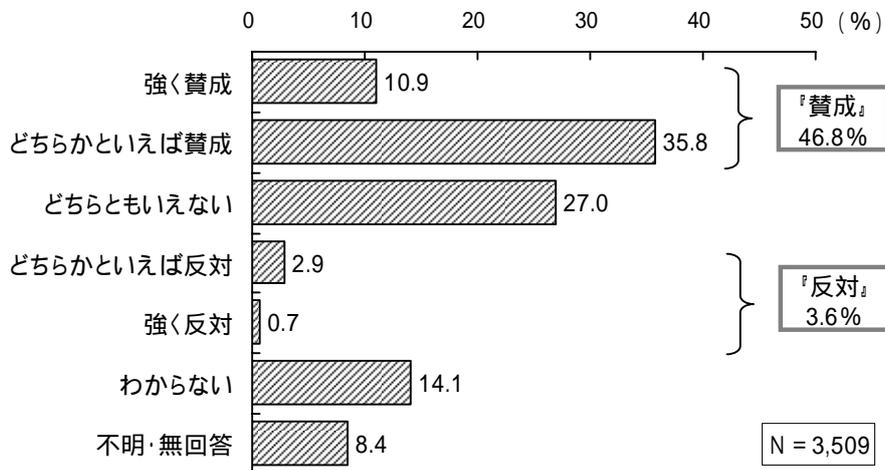
男女ともすべての年代で「住んでいるところによって、サービスが異なる」が最も高く、次いで男性の20歳代と女性のすべての年代では「わからない」が高く、男性の30～70歳以上では「地方自治体の能力では、十分なサービスが行えない」が高くなっている。

地方分権の賛否

問 36 あなたは、地方分権を進めることについて、どうお考えですか。（ は1つだけ）

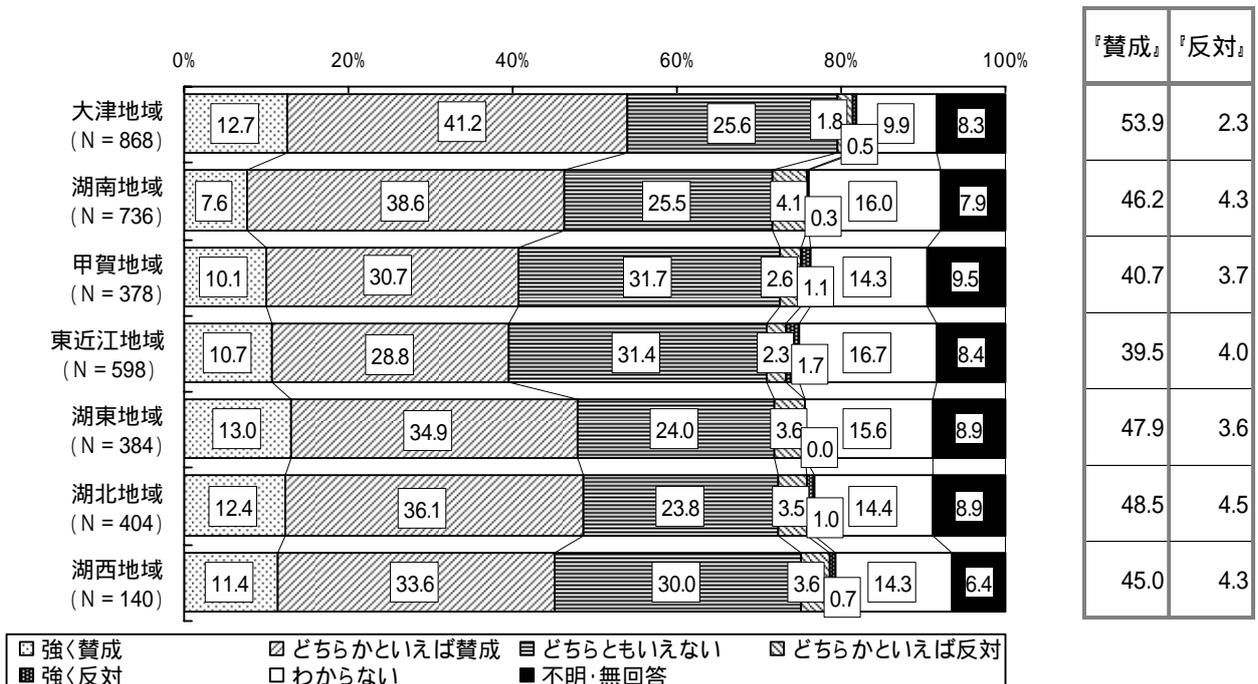
地方分権を進めることに46.8%が『賛成』

地方分権を進めることに「どちらかといえば賛成」が35.8%と最も高く、「強く賛成」の10.9%と合計すると46.8%が『賛成』と回答している。一方、『反対』（「どちらかといえば反対」と「強く反対」の合計）は3.6%となっている。



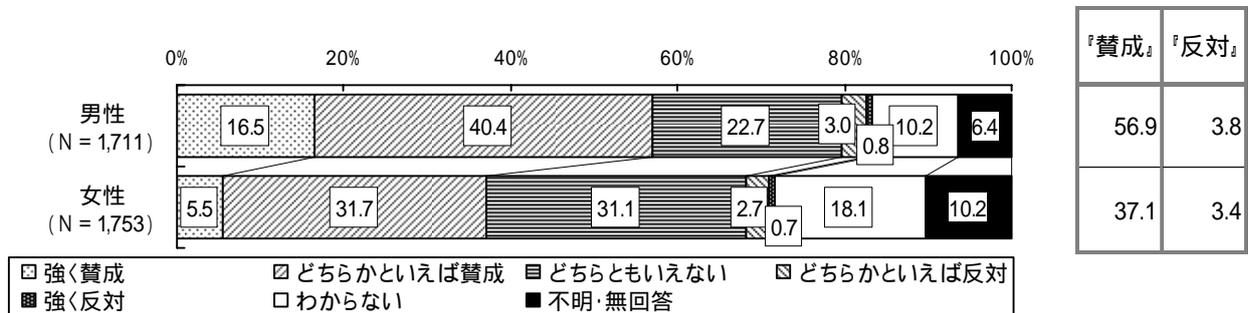
【地域別】

甲賀・東近江地域では「どちらともいえない」が、その他の地域では「どちらかといえば賛成」が最も高くなっている。『賛成』は大津地域で最も高く53.9%となっている。



【性別】

男女とも「どちらかといえば賛成」が最も高く、男性 40.4%、女性 31.7%となっている。『賛成』は男性 56.9%、女性 37.1%で、男性のほうが 19.8 ポイント高くなっている。



【性・年代別】

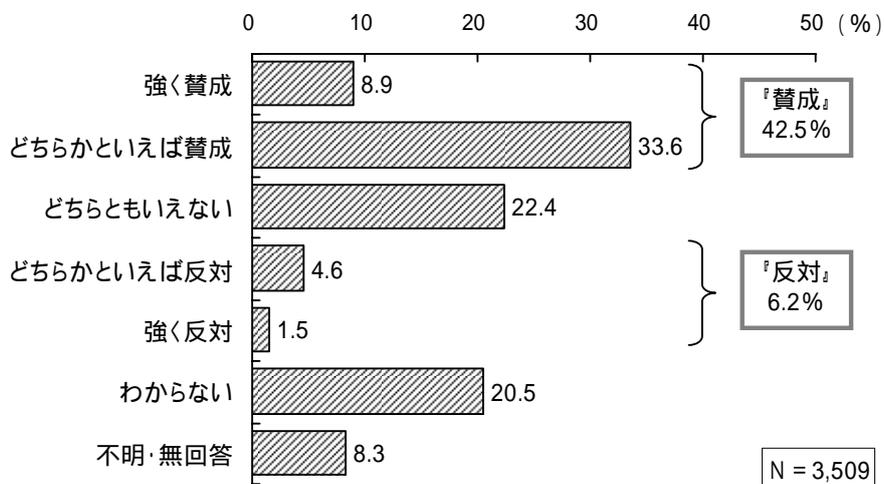
男性の 20 歳代、女性の 20～30 歳代では「どちらともいえない」が最も高く、男女ともにその他の年代では「どちらかといえば賛成」が最も高くなっている。『賛成』は男性では 50 歳代の 64.7%、女性では 40 歳代の 40.9%が最も高くなっている。

関西広域連合への加入

問 37 関西では、国から地方への権限移譲の起爆剤として「関西広域連合」を検討していますが、あなたは、滋賀県が「関西広域連合」に加入することについて、どうお考えですか。( は1つだけ)

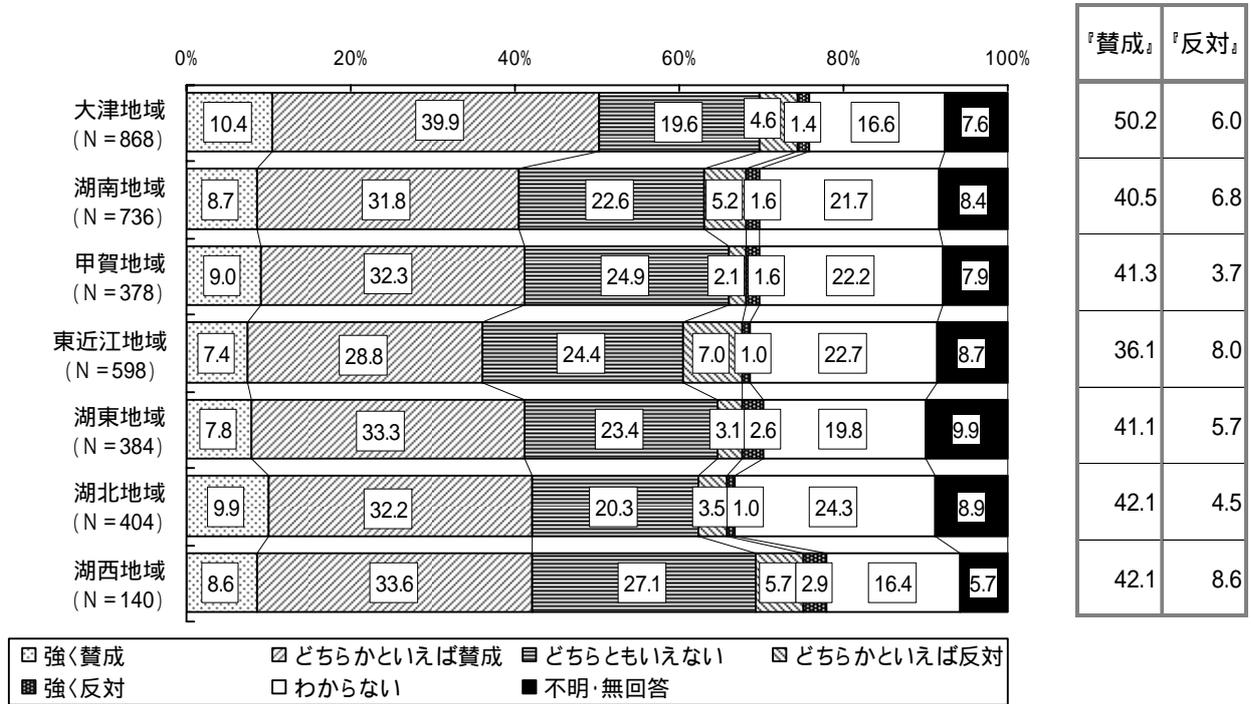
関西広域連合への加入は 42.5%が『賛成』

関西広域連合への加入は「どちらかといえば賛成」が 33.6%と最も高く、「強く賛成」の 8.9%と合計すると 42.5%が『賛成』と回答している。一方、『反対』(「どちらかといえば反対」と「強く反対」の合計)は 6.2%となっている。



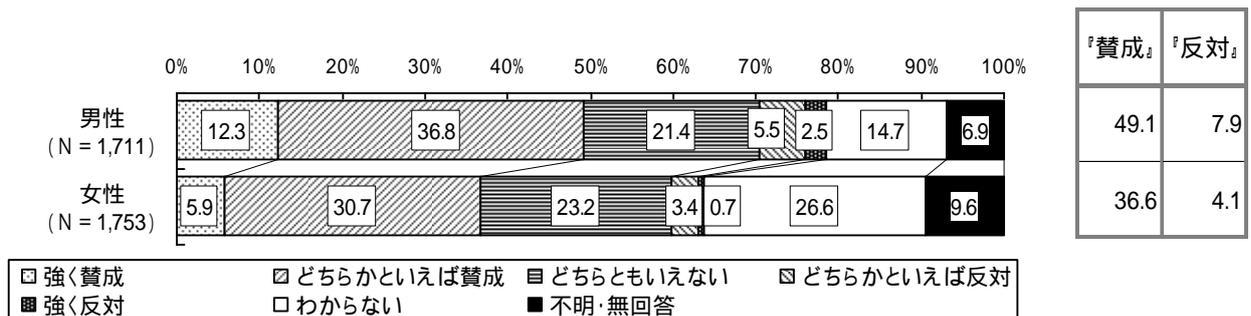
【地域別】

すべての地域で「どちらかといえば賛成」が最も高くなっている。『賛成』は大津地域で最も高く50.2%となっている。



【性別】

男女とも「どちらかといえば賛成」が最も高く、男性36.8%、女性30.7%となっている。『賛成』は男性49.1%、女性36.6%で、男性のほうが12.5ポイント高くなっている。



【性・年代別】

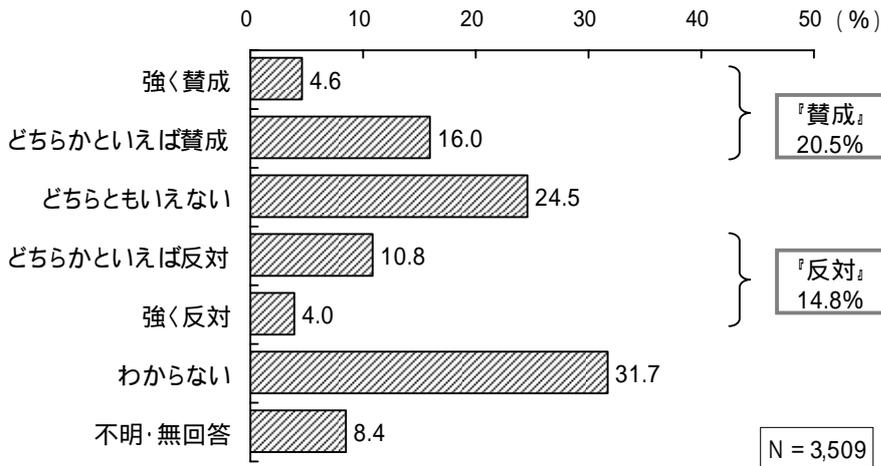
女性の20歳代を除くすべての年代で「どちらかといえば賛成」が最も高くなっている。男性の30・50・60歳代では『賛成』が5割を超えている。女性の40歳代では『賛成』が41.2%で最も高くなっている。

道州制の導入

問 38 政府の諮問機関や経済界、政党などにおいては、現在の都道府県制に代わる「道州制」導入に向けた議論が行われていますが、あなたは、「道州制」の導入について、どうお考えですか。（ は1つだけ）

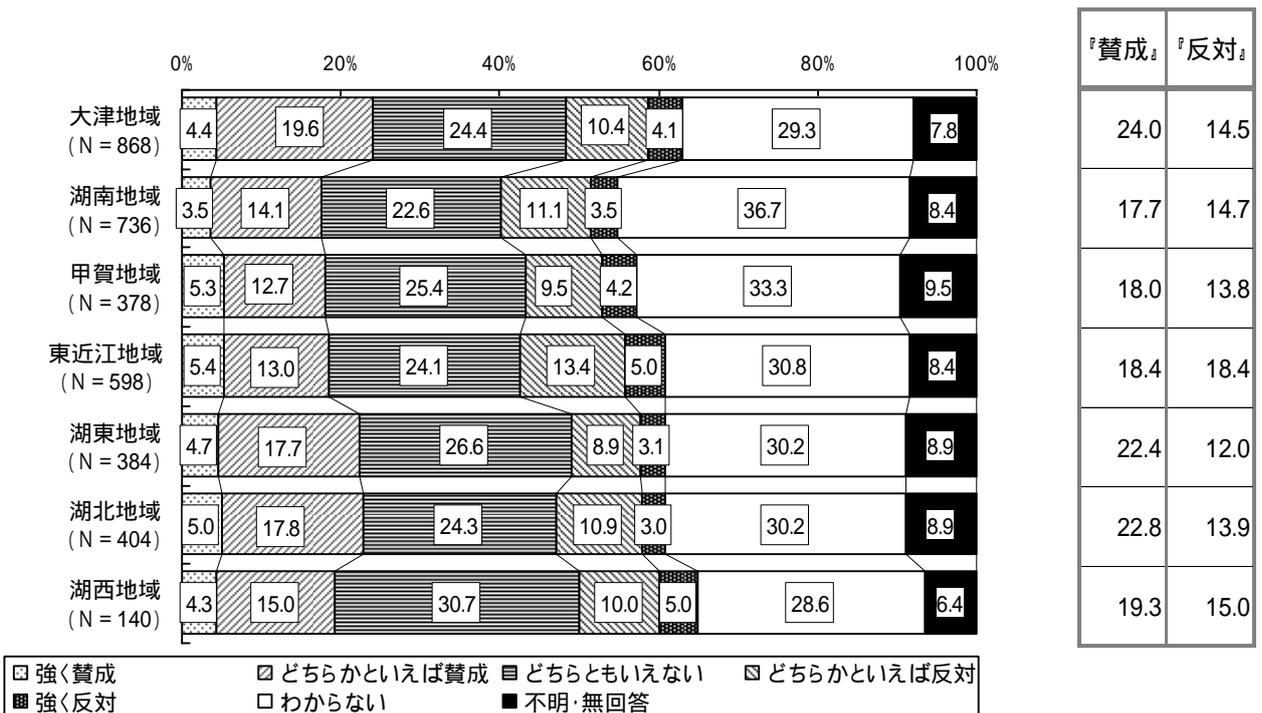
道州制の導入については、『賛成』が20.5%

道州制の導入については、「わからない」が31.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の24.5%となっている。『賛成』（「強く賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）は20.5%、『反対』（「どちらかといえば反対」と「強く反対」の合計）は14.8%で、『賛成』が5.7ポイント高くなっている。



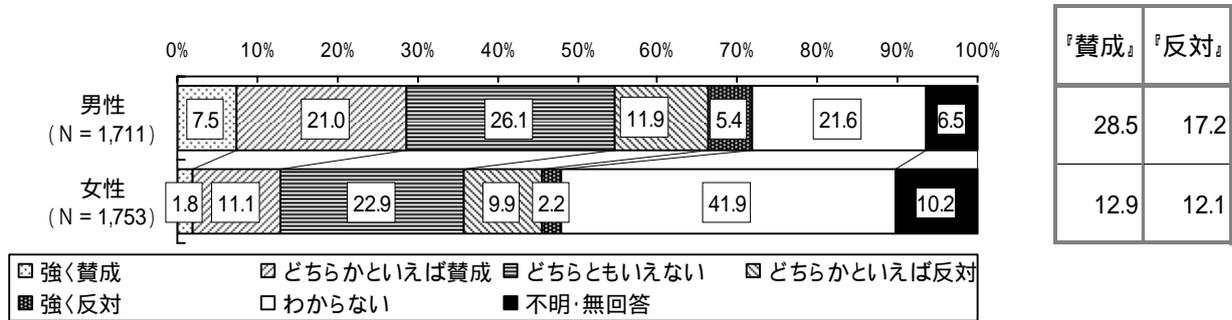
【地域別】

湖西地域を除くすべての地域で「わからない」が最も高い。東近江地域では『賛成』と『反対』が同数となっているが、その他の地域では『賛成』が『反対』を上回っている。



【性別】

男性は「どちらともいえない」が26.1%、女性は「わからない」が41.9%で最も高くなっている。『賛成』は男性28.5%、女性12.9%で、男性が15.6ポイント上回っている。



【性・年代別】

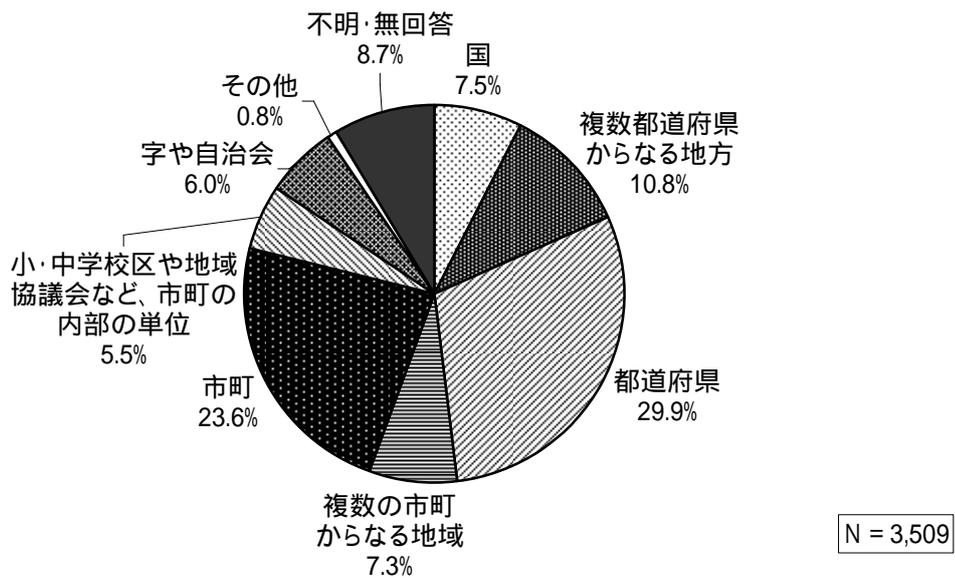
男性の20歳代と女性のすべての年代で「わからない」が、男性のそれ以外の年代では「どちらともいえない」が最も高くなっている。男女とも『賛成』は60歳代で最も多く、男性34.1%、女性19.8%となっている。また、女性の20～40歳代では『反対』が『賛成』を上回っている。

愛着や思い入れを感じる行政単位

問 39 あなたがもっとも愛着や思い入れを感じる行政単位はどれですか。( は1つだけ)

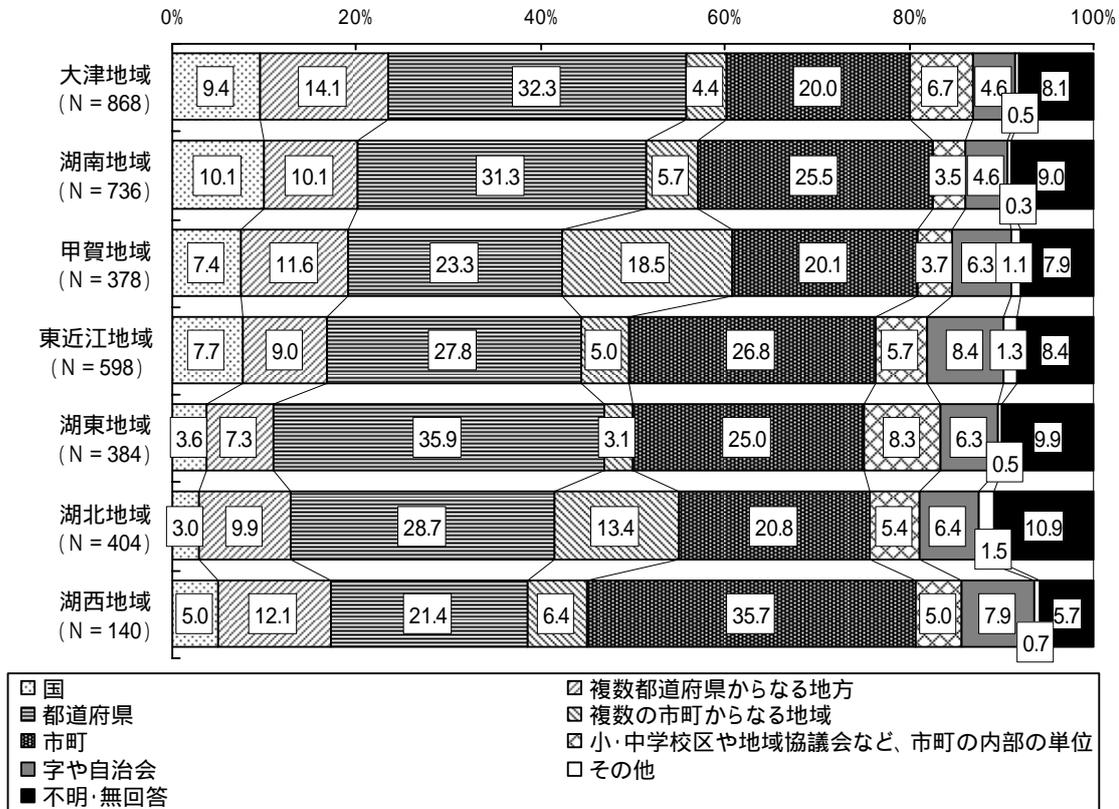
最も愛着や思い入れを感じる行政単位は29.9%が「都道府県」と回答

最も愛着や思い入れを感じる行政単位は、「都道府県」が29.9%で最も高く、次いで「市町」(23.6%)、「複数都道府県からなる地方」(10.8%)の順となっている。



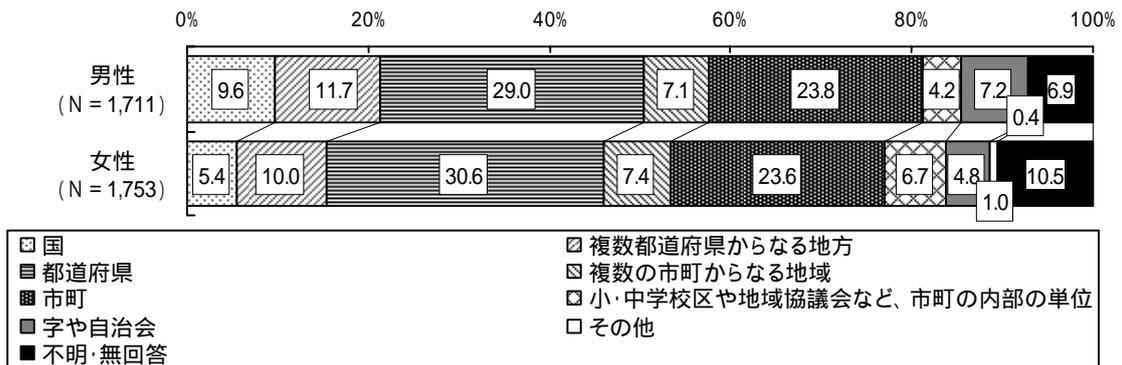
【地域別】

地域別にみると、湖西地域を除くすべての地域では「都道府県」が最も高く、湖西地域では「市町」が35.7%と最も高くなっている。



【性別】

男女とも「都道府県」が最も高く、男性29.0%、女性30.6%となっている。



【性・年代別】

男性の40歳代と女性の20~30歳代では、「市町」が最も高く、男女ともにその他の年代では「都道府県」が最も高くなっている。また、男女ともに60歳以上では「市町」の割合が10%台と低くなっている。